

安保・戦争国会粉碎へ！

2015年8月22日
No.315

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連（斎藤郁真委員長）書記局通信

8・20国会デモ・抗議集会打ち抜く！

◆斎藤郁真全学連委員長発言

本日の1日行動を、この最後の集会を強く強く打ち抜いて安倍政権を倒す。この闘いを実現していきましょう。

みなさん。もはや安倍政権は倒れる。ついに打倒される。この思いは本当に多くの人たちの行動によって、いまや完全に現実のものとなりつつあります。このかんの安倍政権の安保関連法案、衆院での強行採決は完全に彼自身に対して引き金を引きました。15日から17日にかけて、のべ10万人と呼べる人たちがこの国会前を包囲し、広島や長崎の平和記念式典において、安倍首相にたいして平和記念式典の会場内から怒りの声が巻き起こる。こういう形で怒りが叩きつけられ、支持率はどんどん下がっていき、もう安倍は倒れる。こういうことが現実のものとなりつつあります。今日の私達の行動が、本当に安倍首相にトドメをさす。こういうものとして、この集会を打ち抜いていきたいと思います。

そしてこういう風に追い詰められているからこそ、安倍首相はむしろ凶暴に自分たちのこれからの方向性を示すものとして、一旦は押し下げたはずの、戦後70年談話。個人的なツイートになると言われていましたけども、国家の閣議決定としてやるということをこの間強行してきました。そしてこの戦後70年談話は本当に許せないものです。今、マスコミなんかでは表面をなぞるように「キーワードが4つ全部入っているから、まあいいんじゃないか」こんなふうに言われています。ふざけんなって話です！

みなさん、あの戦後70年談話でいわれていることはこれから先、安倍首相がどういう論理で、どういう風に国民をだましてもう一度、侵略戦争をやっていくのか。このことが書かれてるんだって私は思っています。あの談話に書かれてることは、最初に日露戦争を礼賛し、あの戦争が「アジアの人たちを勇気付けたんだ」こういう風にいったあとに、しかしその後、「世界の潮流に反して、国際社会の秩序に反してやった、あの太平洋戦争は間違っていた。」こういう風にいったあとに、「だからそれを反省して、戦後70年間日本は平和で民主主義の伝統を作り上げてきたんだ。」だからもう、「太平洋戦争でおきた被害にたいして、もう謝罪する必要性はないんだ」と強弁して、最後に「平和と民主主義を作ってきた」と言い出して、



8・20国会前シュプレヒコール

「積極的平和主義」を掲げて、朝鮮半島有事だとか対中国を言っています。まさしく、安倍首相が集团的自衛権の安保関連法案の成立の理由、国際秩序を作る側として東アジアの民主化をリードしていく。こういう主張で終わっているわけです。つまりかつての戦争が、「自存自衛」を掲げ、今度の戦争は平和を掲げた侵略戦争をやる。こういう論理を安倍首相は出したのだらうと私は思います。けれどもこの論理には、大きく言って3つの欺瞞点があるだろうと思います。

まず第一に、かつての太平洋戦争にたいして「国際秩序に反して、孤立化して負けたから悪かった。だから謝罪する必要はない。」んなわけじゃないじゃないですか！ 国際秩序に反したことを私達は問題にしているわけじゃない。あの戦争でアジアの人たちが2000万人殺され、日本の人民も300万人が殺され、民衆同士が一部の利権のために殺しあわされたことに対して、二度と繰り返させないために私達はその反省して、二度と戦争をさせないんだって事のために運動してきたし、多くの人たちが運動してきたわけじゃないですか！ 勝手に理由をすりかえるんじゃないって話ですよ！

そして2点目の基盤として、あの日露戦争によってアジアの人たちは勇気付けられた。こんなことを言ってます。じゃあみなさん。朝鮮はどうなんですか？中国はどうなんですか？あの日露戦争によって日本は朝鮮半島を、「韓国併合」という形でしていく。こういうことをやった戦争があの日露戦争だったじゃないですか。まさにその植民地利権を獲得し、「満蒙は日本の生命線だ」と言いそのために、「自存自衛」を掲げておこなったのがあの太平洋戦争だったじゃないですか。あの日露戦争の延長上に、太平洋戦争があったわけで日露戦争は正しくて、太平洋戦争は目的を間違っていたんだ。こんな言い方は完全に欺瞞です。このようなふざけたことに対して、私

全学連第76回定期全国大会

◆安倍政権たおそう！ ストライキで戦争とめよう！

◆全国大学に学生自治会をつくらう！

9月2日(水)～3日(木) 東京・浜町区民館にて

両日とも午前9時半開始 ※3日の議事終了後、16時から国会デモ

参加費用＝1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



達は侵略や支配に対して、対抗しなくちゃいけない。改めてここが勝負だろうと思います。

そして3点目に、あの戦後70年談話の欺瞞は「日本は戦後70年、平和と民主主義の伝統を作ってきた」という言葉です。あのサンフランシスコ平和条約で、日本が国際社会に復帰した。これが言われたときに、同時に沖縄は日本と切り離され米軍基地が集中し、そのもとで朝鮮戦争もベトナム戦争も中東戦争もイラク戦争も多くの戦争がやられてきました。憲法9条の裏の顔として、日米同盟があり、沖縄の基地の集中があり、そうやって日本の平和と民主主義なるものはだまされてきた。このことに私は確信があると思います。日本は戦後70年平和でもなかったし、民主主義でもなかった。いまだってそうじゃないですか！ 「平和と民主主義の伝統がある」ありますか？そんなもの。沖縄はどうなんですか？福島はどうなんですか？原発の再稼働はなんでやられたんですか？安保関連法案はなんで強行採決されたんですか？労働基準法の改悪はなんなんですか？増税はなんなんですか？私達のいまのキャンパスのビラすらまけない大学の現実はなんで作られているんですか？なんで職場の中の労働者が過労死に対して声をあげることが出来ない。ブラック企業は当たり前にあるんですか？これと平和と民主主義の教訓なんですか？そうであるならば私達は一部の人間の金儲けのために、殺し合わされるような戦争に反対するし、平和を使って行われる今の支配に対しても闘争を持ってこたえなくちゃいけないと思っています。戦争に対しても、平和に対しても、私達の人間的な闘争でもってこの社会を変えることが今の社会にたいする私達の解答だというふうに思っています。だからこそ今こそ私達は、私自身の本当の力を本当の実力を取り戻さなくちゃいけないときが来ている。それが解答だというふうに思います。安倍政権に対して「こうして欲しい。こうなって欲しい。」そういうことをお願いするんじゃなくて、私達自身が自分たちの現場から、労働者が生産も流通も分配も担い、そして私達学生が次のこの社会を作っていくように、私たち自身がこの社会をつくっていく。本当の主人公である私達が自分たちの現場からたちあがるのが確信だろうと思います。

その方針として私達全学連は、日本全国の大学から、大学の戦争動員にたいして、それに反撃する学生の反戦ストライキを実現しよう。この間ずっと掲げてきました。こういった運動は今、世界中においても同時にどんどんどんどん起きています。韓国では、労働者を殺すパククネ政権打倒を掲げ、80万の民主労総の労働者たちがゼネラルストライキに立ち上がっています。社会の本当の主人公はだれなのか。このことをはっきりさせる闘いが、いままさに韓国で巻き起こっています。この闘いをやっている韓国の労働者たちは8月15日に、日米韓の軍事同盟に反対し自国の政府の軍拡に対しても反対

して闘い抜いています。日本の労働者・学生もこういった韓国の労働者とともに団結して闘えば、必ず戦争そのものをとめることができる。国際連帯とゼネラルストライキ。これを実現することが私は今の社会に対する本当の解答というふうに思っています。韓国だけではありません。中国でも年間60万件といわれる労働争議が激発し、中国総工会という中国共産党の御用労組を脱退して中国鉄道連合会を始めとして多くの独立の労働運動が作られています。ギリシャにおいても、イギリスにおいても、ブラジルにおいてもドイツにおいても、トルコにおいても、アメリカにおいても多くの国々で今、自分たちの現場から誰がこの社会の主人公なのかこのことを示そう。こういう闘う労働運動が甦りつつあります。この日本においても、動労千葉や動労水戸を先頭にして国鉄闘争をずっと闘い、1047名の解雇撤回を掲げてずっと闘ってきた労働運動が、私達全学連もずっと連帯して行動してきましたけども、今最高裁において国鉄の1047名の解雇は不当労働行為だったんだという判決を勝ち取って闘い抜いています。こういった労働者の闘いと連帯して安倍政権を本当に倒すためのゼネラルストライキを私達全学連もともに勝ち取って行きましょう。安倍首相がなにを言おうが、私達が本当のこの社会の主人公なんだということを実力で示す闘いをともにやり抜いていきましょう。本日の行動はそのための出発点です。

9月の2日・3日の全学連大会にますます多くの学生を集めて、本当に大学の中からストライキを実現する。この闘いをやっていきましょう。今の大学において、多くのリベラルを名乗る教授、左翼を名乗る教授が一番大学の中で自治会を潰し、ビラまきを禁止し、そうやってきた歴史を私達は知っています。だからそことのケンカ、そことの対立はあいまいに出来ないものがあります。それゆえの困難も私達には存在しています。よく新聞に出てくるような権威ある連中が全員大学の中で、行動させないようにしているからです。だから私達の闘いはそんなに簡単に進むものじゃありません。けどもみなさん。今まさしくあの広島や沖縄や福島や多くの労働現場で示されている怒りが明白にあるように怒りはあります。私達はゼロではなくて、巨大な一歩を巨大な「1」としてキャンパスに職場に登場したときに、必ずそれは100に、1000になるという風に私は思っています。みなさん。一步一步それはそんなに簡単なわけではありませんけども確実に進み、必ずストライキに実現して安倍政権の今の軍事研究や、文系学部の廃止・経済的な徴兵制、「単位一就活一奨学金」の3重苦。学生にたいするこのすべての縛りにたいして、学生自身の行動で決起でこたえましょう。60年安保のように、全国の大学で300万人がストライキに突入して、そしてその300万人が国会前に集まり、安倍政権をこの国会からひきづり下ろす闘いをともに実現していきましょう。よろしくお願いします。

【当面する行動方針】

●被曝労働と帰還強制許すな！ 8・29いわき行動

8月29日(土) 13時～ いわき市・平中央公園にて ※集会後にデモ→いわき運輸区前で抗議行動
主催／動労水戸、いわき合同ユニオン、NAZENいわき、動労水戸支援共闘

●戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 8・30国会10万人大行動

8月30日(日) 14時～ 国会議事堂周辺にて
主催／戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会

●星野文昭さんを取り戻そう！ 9・6徳島刑務所デモ

9月6日(日) 13時～ 鮎喰川春日橋たもと河川敷にて集会→14時にデモ出発

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

